

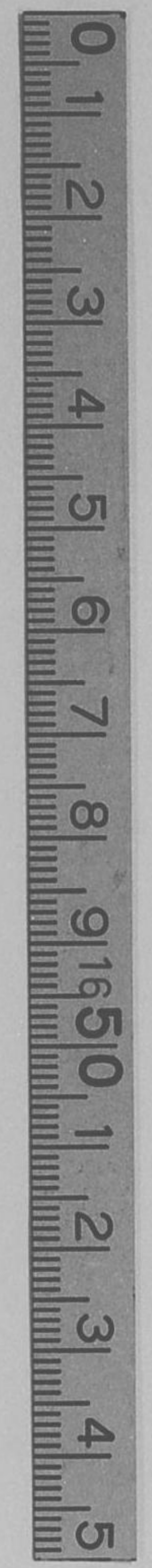
始



4-08

231

Ⓜ



408
4
281

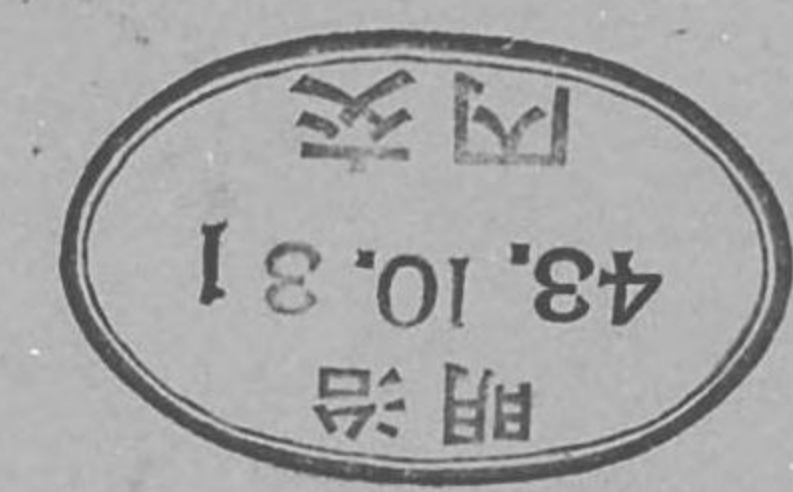
滋賀縣寫真帖

[3]

408-231

目次

| | | | |
|--------------|---|----------|-----|
| 滋賀縣模範林 | 同 | 學林 | 二 |
| 同 | 同 | 樹苗圃 | 三 |
| 甲賀郡林 | 同 | | 四 |
| 犬上郡林 | 同 | | 五 |
| 阪田郡林 | 同 | | 六 |
| 蒲生郡鏡山村林 | 同 | | 七 |
| 神崎郡山上村林 | 同 | | 八 |
| 甲賀郡三雲村小學校林 | 同 | | 九 |
| 同 | 同 | 郡岩根村山橙苗圃 | 十 |
| 同 | 同 | 郡油日村部落林 | 十一 |
| 野洲郡篠原村部落林 | 同 | | 十二 |
| 蒲生郡日野町外二村組合林 | 同 | | 十三 |
| 愛知郡秦川村部落林 | 同 | | 十四 |
| 東淺井郡下草野村部落林 | 同 | | 十五 |
| 阪田郡伊吹村神社林 | 同 | | 十六 |
| 甲賀郡赤十字社員林 | 同 | | 十七 |
| 高島郡朽木村私有林 | 同 | | 十八 |
| 元楮山ノ景況 | 同 | | 十九 |
| 砂防工事 | 同 | | 二十 |
| 同 | 同 | (其二) | 二十一 |
| 同 | 同 | (其三) | 二十二 |
| 同 | 同 | (其四) | 二十三 |
| 同 | 同 | (其五) | 二十四 |
| 同 | 同 | (其六) | 二十五 |
| 同 | 同 | (其七) | 二十六 |
| 同 | 同 | (其八) | 二十七 |



一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七

砂防工事(其九)
 大山川堰埭及家棟川堰埭
 栗太郡金勝村耕地整理
 野洲郡中洲村耕地整理
 東淺井郡田根村耕地整理
 滋賀縣堅田町共同稻苗代
 栗太郡治田村共同稻苗代
 野洲郡兵主村共同稻苗代
 甲賀郡伴谷村共同稻苗代
 高島郡大溝町共同稻苗代
 地曳網
 鮎
 鱒
 藻

二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十

計畝計... 林計... 示...
 計二十一... 三十五... 四百八十... 本圖... 第一...
 計四十六... 又二千... 本圖... 第一...
 計本... 計... 計... 計...
 計... 計... 計... 計...

總覽... 林...

滋賀縣摸範林

滋賀縣摸範林ハ二箇所ニ分設シ第一ハ滋賀
郡木戸村ニ第二ハ伊香郡片岡村ニ在リ總面
積四十六町九反二畝十三步裁スル所ノ杉扁
柏二十一萬三千五百八十本本圖ハ第一摸範
林ノ一部ニシテ明治三十九、四十、兩年ニ於
テ杉扁柏ヲ栽エタル林相ヲ示ス



滋賀縣學林

滋賀縣學林ハ二箇所ニ分設シ第一ハ高島郡
朽木村ニ第二ハ東淺井郡東草野村ニ在リ總
面積六百四十九町八反十一步第一學林ハ明
治四十二年ヨリ杉扁柏ノ栽植ニ着手シ目下
専ラ作業中ニ屬ス本圖ハ其ノ實況ナリ



滋賀縣樹苗圃

滋賀縣樹苗圃ハ總計九箇所面積十六町五反
七畝歩ニシテ杉、扁柏、山檜、櫟、松ヲ培養ス本圃
ハ栗太郎瀬田村苗圃、實況ナリ



甲賀郡林

甲賀郡林ノ一部同郡山内村大字黒瀧ニ在リ
杉扁柏栽植後七箇年ヲ經タル林相ナリ



犬上郡林

犬上郡林ノ一部同郡大瀧村大字大君ヶ畑ニ
在リ杉扁柏栽植後六箇年ヲ經タル林相ナリ





阪田郡林
阪田郡林ノ一部同郡春照村大字藤川ニ在リ
明治三十五年ヨリ同四十二年ニ亘リ杉扁柏
擇ヲ栽植セル林相ナリ



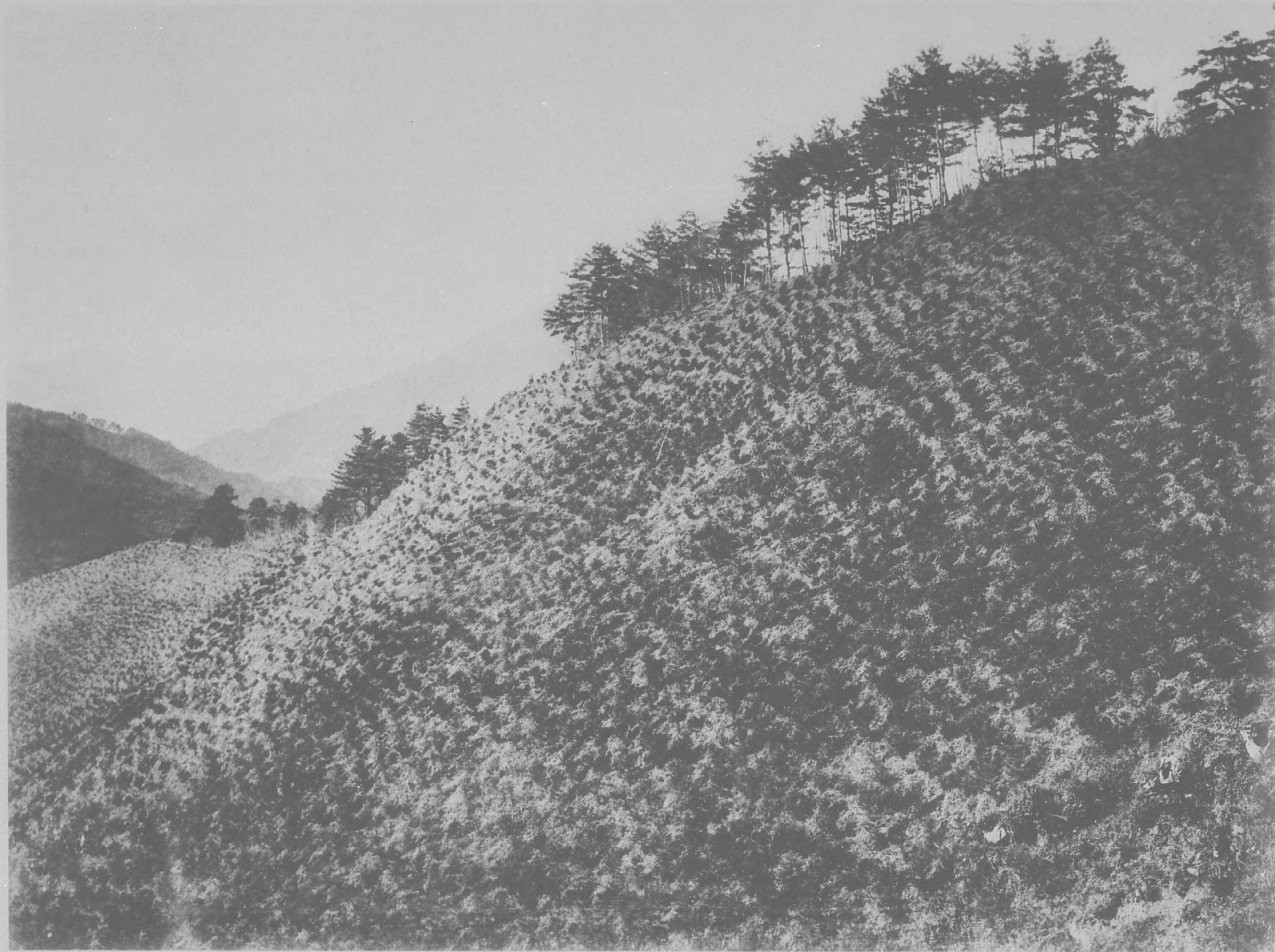


鏡山村林
蒲生郡鏡山村林ノ一部同村大字薬師ニ在リ
松山檀栽植後四箇年ヲ経タル林相ナリ





山上村林
神崎郡山上村林ノ一部同村大字佐目ニ在リ
杉扁柏栽植後四箇年ヲ經タル林相ナリ



小學校林
甲賀郡三雲村經營ニ係ル小學校林ノ一部同
村大字三雲ニ在リ杉扁柏松栽植後十四箇年
ヲ經タル林相ナリ





岩根村山橙苗圃
甲賀郡岩根村農會ノ經營ニ係ル山橙苗圃ノ
一部同村大字正福寺ニ在リ





油日村部落林
甲賀郡油日村部落林ノ一部同村大字油日ニ
在リ杉扁柏栽植後十九箇年ヲ經タル林相ナ





篠原村部落林
野洲郡篠原村部落林ノ一部同村大字小堤ニ
在リ山檀松栽植後十一箇年ヲ經タル林相ナリ



日野町外二箇村組合林
蒲生郡日野町外二箇村組合林ノ一部西大路
村大字藏王ニ在リ杉扁柏栽植後十箇年ヲ経
タル林相ナリ





秦川村部落林
愛知郡秦川村部落林ノ一部同村大字松尾寺
ニ在リ山程扁柏栽植後二十箇年ヲ経タル林
相ナリ



下草野村部落林
東淺井郡下草野村部落林ノ一部同村大字徳
山ニ在リ杉山檜栽植後十七箇年ヲ経タル林
相ナリ



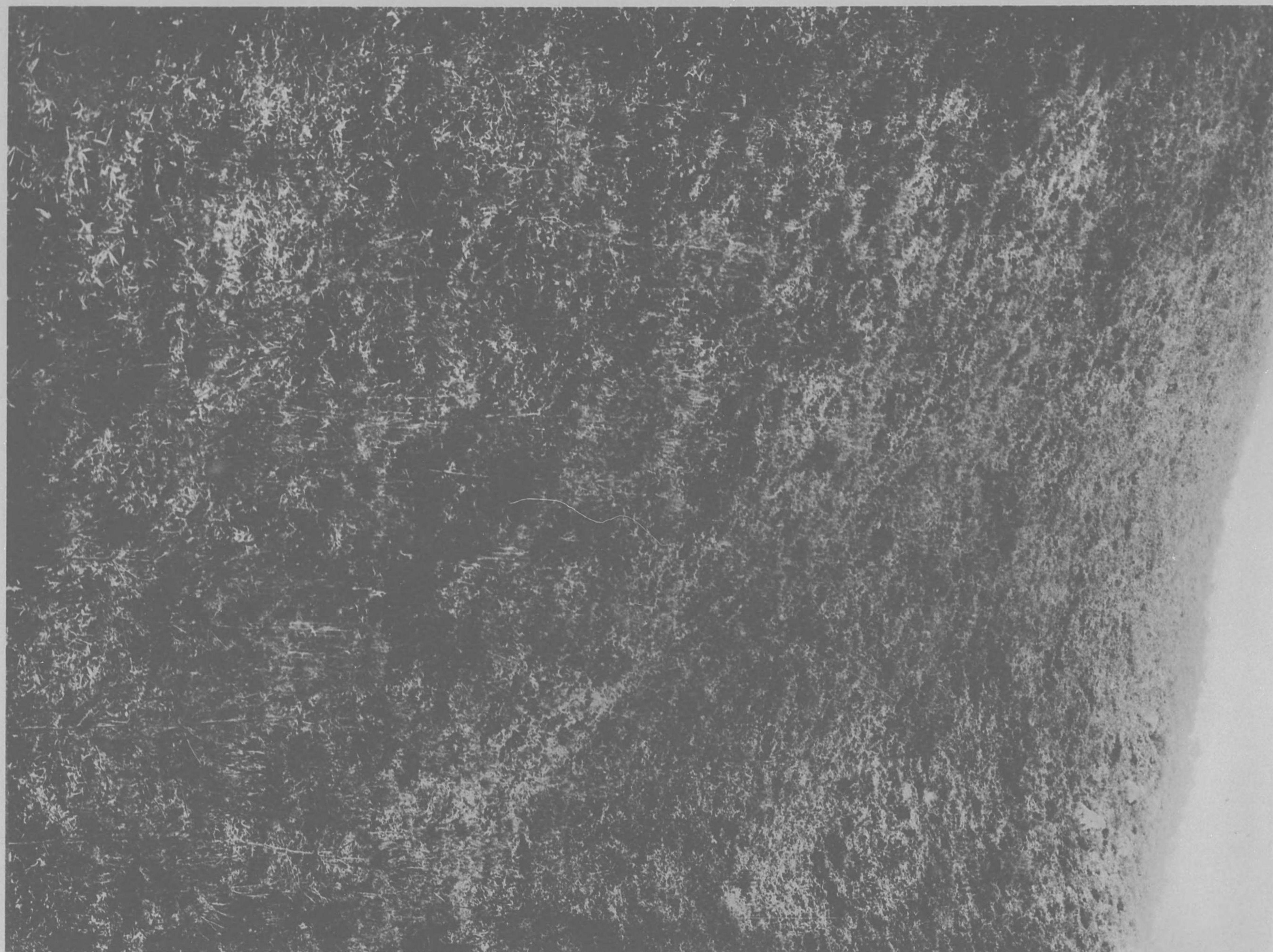


伊吹村神社林
阪田郡伊吹村神社林、一部同村大字上野ニ
在リ杉扁柏栽植後約百年ヲ経タル林相ナリ



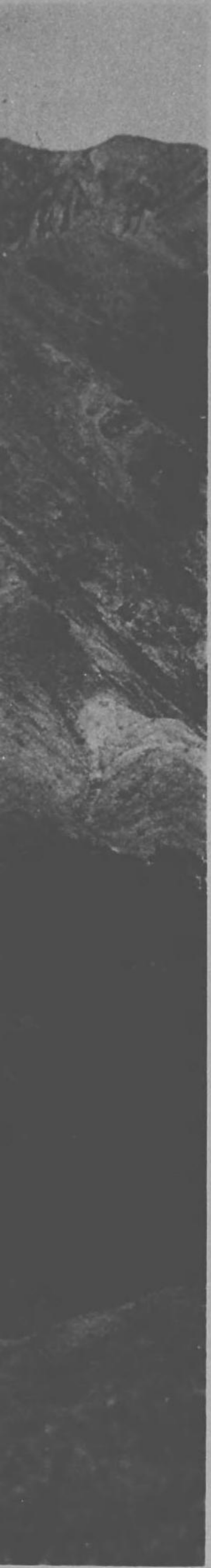
赤十字社員林

日本赤十字社滋賀支部甲賀郡委員部ノ經營
ニ係ル赤十字社員ノ一部同郡長野村大字
長野ニ在リ赤松山檜栽植後六箇年ヲ経タル
林相ナリ



朽木村私有林
高島郡朽木村私有林ノ一部同村大字市場ニ
在リ杉扁柏栽植後五箇年乃至十二箇年ヲ經
タル林相ナリ





楮山ノ景况
野洲川流域ニ係ル甲賀郡岩根村大字菩提寺
所屬楮山ノ真景ニシテ将来砂防工事ヲ施行
スヘキ箇所ナリ





砂防工事 (其一)
工事施行前ハ連山積壳岩石露出シタルモ明治二十六年以降砂防工事トシテ積苗工積石工兼エテ施シ土石堰埭等ヲ作り松苗及小檜苗ヲ栽植シ以テ土砂并止ノ目的ニ供ス此ノ寫真ハ野洲川流域甲賀郡岩根村大字岩根所屬施工初年ノ實況ナリ



砂防工事 (其二)
此、寫真ハ野洲川流域甲賀郡岩根村大字岩
根所屬施工二年後ノ實況ナリ





砂防工事 (其三)
此、寫真ハ野洲川流域甲賀郡岩根村大字岩
根所屬施工三年後、實況ナリ



砂防工事 (其四)
此、寫真、野洲川流域甲賀郡岩根村大字岩
根所屬施工五年後、實況ナリ





砂防工事 (其五)
此、寫真、家棟川流域野洲郡篠原村大字小
堤所屬施工七年後、實況ナリ





砂防工事 (其六)
此、寫真、家棟川流域野洲郡篠原村大字小
堤所屬施工二十年後、實況ナリ





砂防工事 (其七)
此、寫真ハ宇曾川支流岩倉川流域愛知郡秦
川村大字芥磨所屬施工十六年後ノ實況ナリ





砂防工事 (其八)
此、寫真ハ野洲川流域甲賀郡岩根村大字菩
堤寺所屬施工二十年後ノ實況ナリ



砂防工事 (其九)
此、寫真ハ日野川支流善光寺川流域蒲生郡
鏡山村大字七里所屬施工二十四年後ノ實況
ナリ



大山川堰埭及家棟川堰埭

甲賀郡岩根村大字菩提寺所屬大山川堰埭ハ
明治二十一年野洲川ノ支流大山川ニ築設シ
長百十四間高十五尺工費一萬千八百八十有
餘圓

野洲郡篠原村大字辻町所屬家棟川堰埭ハ明
治三十七年家棟川ニ築設シ長七十四間高十
八尺工費八千三百餘圓

此ノ流域ニ屬スル山岳ハ殆ド赤嶺シ土砂ノ
流出甚シク其被害甚カラサリシヲ以テ之ヲ
防止セシカタメ此等ノ築設ヲナシタルハ竣
工ノ後ハ啗ニ其ノ目的ヲ達シタルノミナラ
ズ一面瀦水池トシテ灌溉ノ用ニ供スルコト
ヲ得其効果顯著ナリ

上圖ハ大山川堰埭下圖ハ家棟川堰埭ナリ





栗太郡金勝村耕地整理
村ニ沿ヘル金勝川ハ近年川床漸次增高シ排水ノ吐口閉塞シ加之村内三十餘町歩ノ田地ハ冷水湧出シ其最低部ハ宛然池沼ヲ現セリ排水ノ為明治四十一年六月工事ニ着手シ四十二年五月竣功セリ
此ノ寫真ハ其整理後ノ實況ナリ



野洲郡中洲村耕地整理

此村ハ明治二十九年ノ大洪水ニ野洲川堤防
決潰シ田畑一面土砂ニ埋没セラレ爾來十星
霜刻苦經營之ヲ取除ニ從事シタルモ土砂堆
積シテ小丘ヲ為シ地方農民ノ損失尠カラズ
明治四十年二月復舊ノ目的ヲ以テ耕地整理
ニ着手シ四十三年四月功全ク成リ四十五町
歩ノ悪田ハ昔日ニ優ル良田トナレリ



東淺井郡田根村耕地整理

本地區ハ排水ノ吐口タル田川川床ノ漸次増
嵩シタル結果十餘町歩ノ水田ハ常ニ四五尺
ノ水ヲ湛ヘ一朝洪水ニ逢ハ乍チ擴大シテ
附近三十餘町歩ノ田地ヲ没シ浸水數日ニ及
フコトアリ之カ排水ヲ完全ナラシムル為明
治四十二年二月耕地整理ニ着手シ四十二年
五月切ヲ竣ヘ約二十五町歩ノ田地ハ良田ト
ナリシコト此ノ寫真ニ就テ見ルカ如シ





滋賀郡堅田町共同稻苗代

明治三十八年縣令ヲ以テ共同稻苗代設置規
則ヲ發布セリ當時縣下ニ於テ六萬八千四百
三十七箇ヲ算シタル苗代ハ此規則ノ實施ト
共ニ約六萬ヲ減少シ明治四十三年ニ於テハ
八千五百七十二箇所トナレリ此ニ寫真セル
ハ滋賀郡堅田町大字本堅田ニ於ケル共同苗
代ニシテ反別ニ反五畝毎共同人員十一人ナ
リ





粟太郡沼田村共同稲苗代
此稲苗代ハ面積三反六畝十八歩共同人員十
九人ニシテ粟太郡沼田村大字下鉤ニ設置シ
タルモノナリ



野洲郡兵主村共同稲苗代
此稲苗代、野洲郡兵主村大字野田全部落農
民、共同經營ニシテ参加人員百四十八人面
積一町一反二畝十六歩ナリ





甲賀郡伴谷村共同稻苗代
此稻苗代ハ面積四反三畝十二歩共同人員十
九人ニシテ明治四十三年甲賀郡伴谷村大字
伴中山ニ設置シタルモノナリ



高島郡大溝町共同稲苗代
此稲苗代ハ明治四十三年高島郡大溝町大字
永田ニ設置シタルモノニシテ面積六反九畝
二十歩共同人員三十三人ナリ







地曳網
琵琶湖地曳網ハ大網、鱒網、水魚網、鮎網ノ四種
アリ湖南地方及内湖入江ヲ除ク外沿湖各
地ニ於テ使用シ就中和通川以北ノ湖西地方
ニ於テ最モ多シ





トス
ハ長サ七百五十間ニ達シ琵琶湖特有ノ漁具
シテ沿湖到ル處之ヲ使用ス其ノ大ナルモノ
装置ヲ設ケテ魚類ヲ捕獲スル一種ノ漁具ニ
魚ハ湖中ニ支柱ヲ建テ簀若ハ網ヲ張り陷穿
魚





鱒 築

十一月ノ交湖中ノ鱒ハ産卵ノ為河川ニ溯
上ス網築ハ之ヲ捕獲スル漁具ニシテ此ニ寫
真セルハ鱒漁ヲ以テ名アル安曇川ニ設定セ
ルモノナリ



明治四十三年十月一日印刷
明治四十三年十月三日發行

滋 賀 縣

東京市日本橋區數寄屋町一番地
印刷者 田 山 宗 堯

408
4
231

終